

コロナ禍における登録団体の 活動状況アンケート

調査結果

令和3(2021)年3月

杉並区社会福祉協議会
杉並ボランティアセンター

アンケート調査概要

●目的

新型コロナウイルスの影響で、ボランティア活動が大きく変化した。顔を合わせたのコミュニケーションに制限を余儀なくされてから約1年が経過しようとしている。地域の団体の活動状況やニーズを把握し、新しい生活様式に対応した活動の支援と、共に課題解決し社会貢献活動の推進に寄与できるように、ボランティアセンター登録団体を対象に、アンケート形式で調査を実施した。

●実施期間

2021年2月9日(火)～2021年2月27日(土)

●調査対象

杉並ボランティアセンター2020年度登録団体 64団体

●調査方法

【依頼】 アンケート用紙及びメールにて依頼

【回答】 ①Googleフォーム

②FAX

③窓口

●回答数

回答件数 : 35団体

回答率 : 54.6%

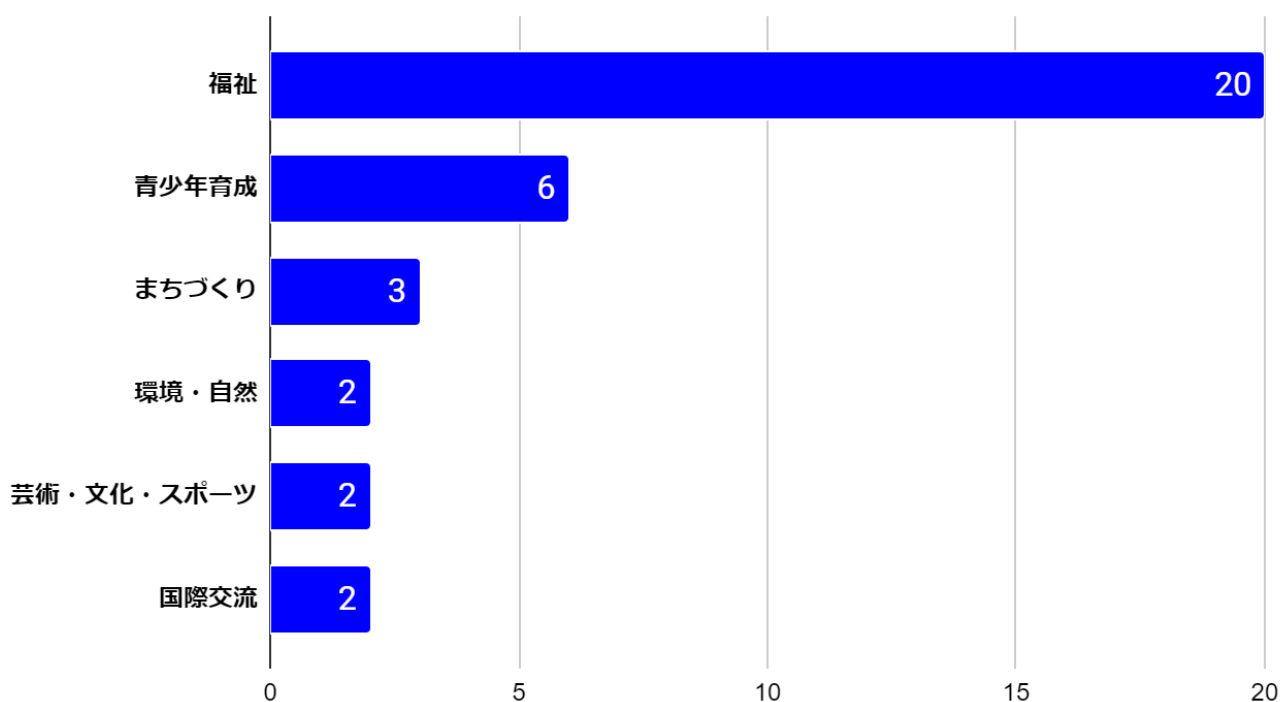
アンケート項目

●アンケート項目一覧(10項目)

1. 団体名
2. 連絡先
3. メールアドレス
4. 現在、活動をしていますか？
5. 新型コロナウイルスの影響で、活動内容はどのように変わりましたか？
6. 活動内容が「一部変わった」「大きく変わった」を選択された方は、どのように変わられたのか教えてください。(自由記述)
7. 現在、ボランティアに協力してもらうことはありますか？
8. 今後の活動について、どのようにお考えですか？(自由記述)
9. どのような支援があれば活動がしやすくなると思いますか？(自由記述)
10. 杉並ボランティアセンターへのご意見、ご要望、ボランティアに依頼したいことがありましたらご記入ください。(自由記述)

●回答した団体の活動分野

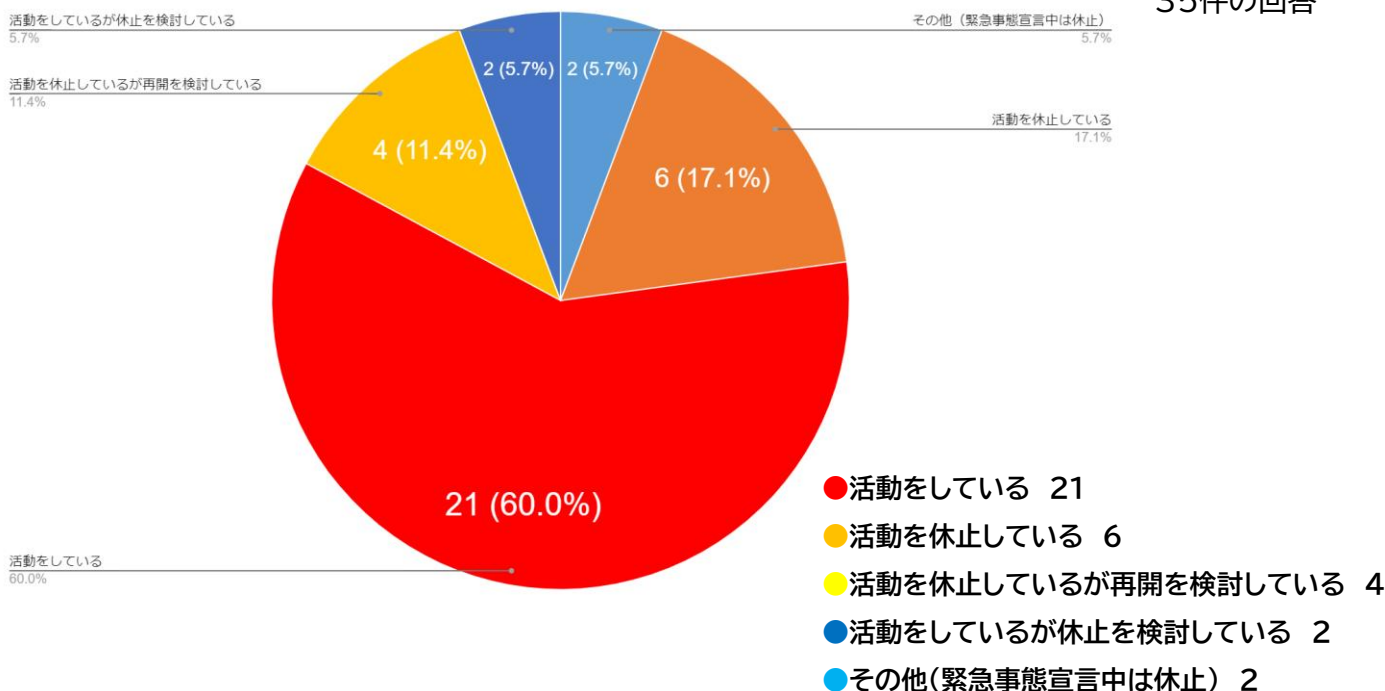
35件の回答



アンケート調査結果

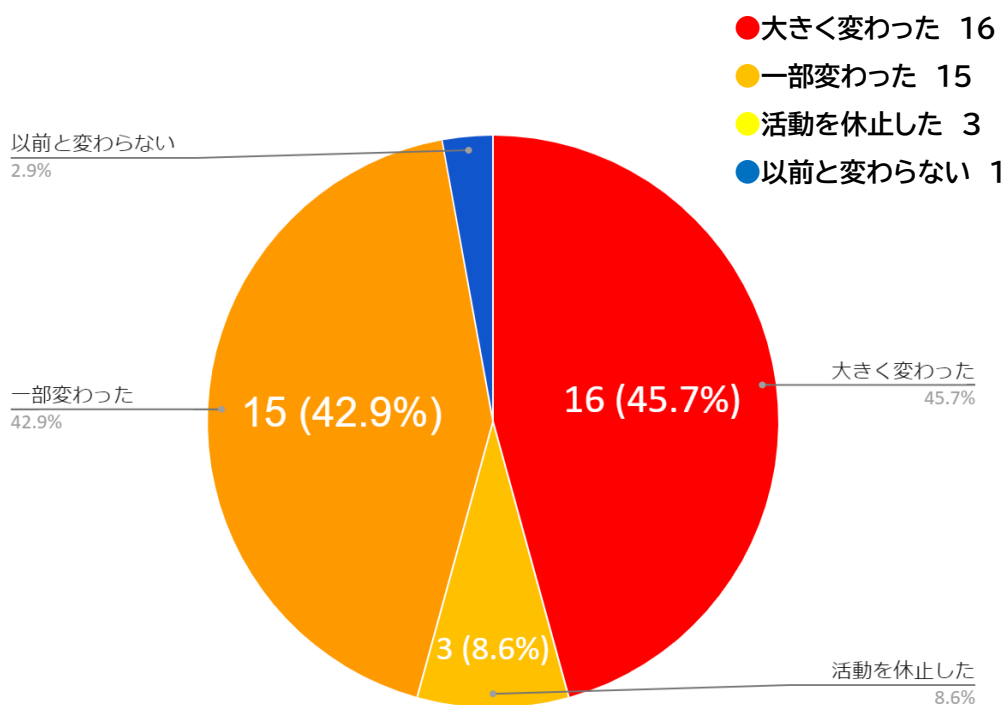
●現在、活動をしていますか？

35件の回答



●新型コロナウイルスの影響で、活動内容はどのように変わりましたか？

35件の回答



アンケート調査結果

●活動内容が「一部変わった」「大きく変わった」を選択された方は、どのように変わられたのか教えてください。(自由記述)※原文ママ

【福祉分野】

- ・対面の活動は全て中止しています。
- ・セミナーやワークショップはオンラインに切り替えた。
- ・高齢者の方々への傾聴でしたので高齢者施設では活動が不可になり活動場所がなくなってしまった。
- ・会員対面定例会を一部休会し資料郵送に切り替える。
- ・集合の自粛に場所定員の2倍スペースが必要になった。
- ・定例会のみ行っている。
- ・緊急事態宣言中は休止、解除後当面は会員だけ参加で活動。
- ・交流会をオンラインで開催している。
- ・地域活動は休止。施設ボラは1カ所の施設で形態をかえ少々やっています。
- ・細々と活動している。希望される方、団体へのみ感染症対策をしつつ気をつけてやっている。活動先が少なくなった。
- ・地域大学の健康づくりリーダー講座は募集人数に満たず、開催中止となった(2~3月)。外部での活動のため定例会は2~3月は中止とした。役員会はZoomやメールで打合せは随時実施している。
- ・コロナ禍で水泳療法をここまで4回(6分の1)しかできていません。
- ・個人宅は活動。施設関係は休止。個人宅も休止ケースあり。
- ・傾聴活動は休止。連絡会も集まりにくくなっている。傾聴活動の場である”特養”に入場できないため傾聴活動は休止中。
- ・集まりが減り、郵送が増えた。
- ・月1回の集まりが緊急事態宣言で図書館休館のためできませんでしたが、今は通常に戻っています。
- ・定例会議を図書館会場からリモートへ。
- ・イベントの参加人数の制限、一部の活動は中止。
- ・施設の活動は休止中。個人宅は継続中。
- ・人数の件で居室を分けた。

アンケート調査結果

●活動内容が「一部変わった」「大きく変わった」を選択された方は、どのように変わられたのか教えてください。(自由記述)※原文ママ

【青少年育成分野】

- ・活動内容自体に大きな変化はないが、活動形態や実施回数等に関して、
 - 1)リアルでの活動では、大会場への変更、三密回避対策などが必要になった。それにより、余計は経費がかかり、運営が苦しくなった。
 - 2)公的機関が主催する実施が次々にキャンセルされ、オファーが減った。
 - 3)活動形態として、オンラインでの開催を新たに始めた。などがある。
- ・幼児の出張一時預かり。三密、換気等感染予防の環境にない場所が多く活動の場所を失うとともに、人の集まる行事、イベント等が減少した。平常時の約1割の活動であった。
- ・大部分が事業計画通りに実施できなかった。
- ・定例会、ワークショップの開催が出来ない。
- ・鑑賞例会開催にあたり、感染症拡大予防対策を取っている。
- ・午前中だけの活動になった。

【まちづくり分野】

- ・予定していた協働事業等の中止。
- ・不特定多数の人を対象とした事業は出来なくなった。
- ・密になるイベントは中止ないし変更した。今年度のセンターや区民集会所のまつりを3つとも中止した。プラネタリウム事業は三密回避が困難なため講座形式の宇宙講座に変更した。講座などのイベントを実施する場合は、人数制限、検温、消毒などコロナウイルス感染症予防対策に万全を期して行っている。

【環境・自然分野】

- ・会員だけの活動に限定し、1回当たりの参加人員も制限。

【芸術・文化・スポーツ分野】

- ・会合を開くことが出来ない。
- ・イベントについて人数制限(例年の半分)を設けての実施。

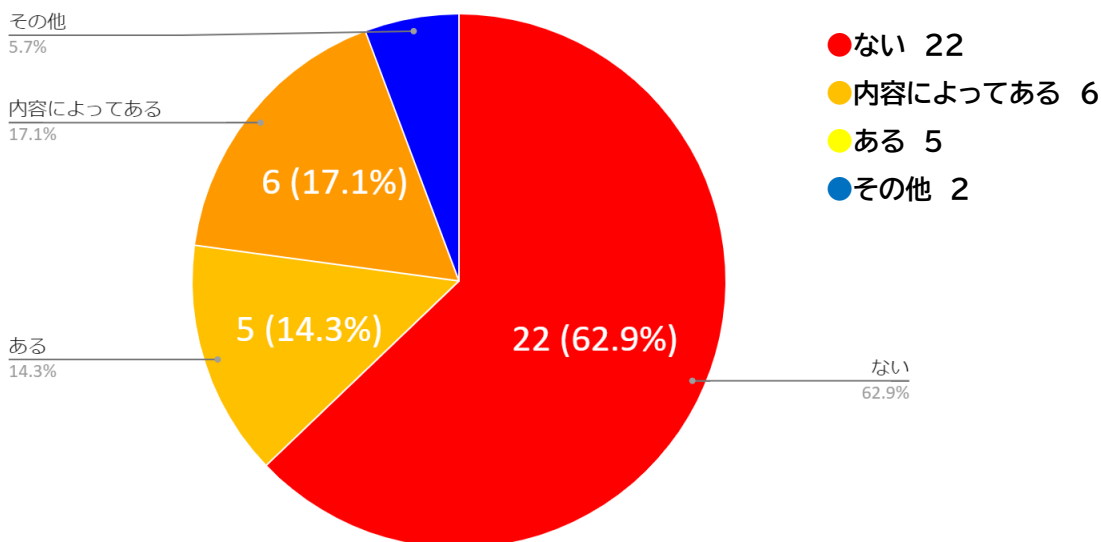
【国際交流分野】

- ・①クラス編成(時間短縮、人数制限)②距離を保つ教室内配置③体験型特別授業の中止。

アンケート調査結果

●現在、ボランティアに協力してもらうことはありますか？

35件の回答



●今後の活動について、どのようにお考えですか？(自由記述)※原文ママ

【福祉分野】

- ・コロナ禍でも出来る傾聴活動模索中。
- ・感染症対策をして、対面での交流会を行いたいです。
- ・希望があれば不自由を感じている方のお手伝いをしたい気持ちはあるが、利用者、奉仕者共に不安があって、以前のように活動できないのが残念に思う。
- ・活動内容によってはオンラインをも視野に入れてみたい。基本は、対面で健康づくりに関する区民の意識を高めることを目的にしたい。
- ・コロナ禍の為活動休止を検討中です。
- ・リアルに勝るものはないけど、一対一であればオンライン(スカイプ、Zoom)も悪くない。他のボランティアでスカイプしてます。何もしないよりはオンラインでもする方がうしろに続いていく気がする。
- ・①傾聴活動の新たな活動場所がないか。②会員同士のコミュニケーションの新たな場設定。
- ・点訳の依頼そのものが減っています。小さなグループなので大きな仕事はできず停滞ぎみです。

アンケート調査結果

●今後の活動について、どのようにお考えですか？(自由記述)※原文ママ

【福祉分野】

- ・活動は録音図書製作なので、基本的にはそれぞれの家での録音作業となり、大きな影響はありません。緊急事態宣言で、図書館での月1の集まりができなかったので、Zoomでできる勉強会をして全員つながれる状況は作りました。
- ・もともと音訳図書の作成なので、各自が家で行っているが、月一度の会議があり、オンラインを活用しているが、可能な限り会議は図書館で行いたい。
- ・状況は変わると思うので、これまで同様に基本に、適宜対応。会議などは、オンライン利用も検討中。
- ・現在、高齢者施設での活動は休止中だが、施設側と相談しながら新たな活動の仕方を模索していく。
- ・今までの継続を希望します。
- ・昨秋、ボランティア代表者と今後について話し合ったのですが、再開されても今まで通りの活動ができるかどうか「否」の方が多く、原因は高齢化が主なものです。休止期間が長くなり、余計にその方に傾いていきます。
- ・緊急事態宣言が解除され、感染者数が抑えられた状況で、3月中旬以降に活動を再開する予定です。
- ・オンラインを継続して活用していく。
- ・高齢者の方々にかぎらず、傾聴を希望される場があれば活動していきたい。
- ・昨年と今回会合を数か月休みましたが、話し合っただけでその疑問解決を痛感しております。短時間での会合を実施する。
- ・活動内容が近似している会と横の連絡を取りたい。例えば、リタイア組？ひきこもり支援者。
- ・例会などはオンラインを併用しつつ行っているが、他団体はどうしているかなどの事例を知りたい。

アンケート調査結果

●今後の活動について、どのようにお考えですか？(自由記述)※原文ママ

【青少年育成分野】

- ・コロナが収束するまでは、縮小して活動をする。会議などはオンラインを利用する場合もある。
- ・コロナが収束するまで活動は出来ない。
- ・対策を徹底して、今後も鑑賞例会を開催していく。
- ・コロナとは関係なくボランティアの高齢化で、いつまで続けられれば良いのかと。次世代の人が入ってこないし、布の遊具の在り方も気になります。
- ・基本は変わらないが、オンラインの活用が増えて来ると思う。

【まちづくり分野】

- ・活動拠点が2年間の大規模改修に4月から入るので、今年の3月から休止とする。昨年7月に決定した。
- ・コロナウイルス感染症予防対策に万全を期して活動予定
- ・ボランティア委員の会議のオンライン化。

【環境・自然分野】

- ・野外活動中心なので、一般参加者を募る活動は当面目処がたたない。

【芸術・文化・スポーツ分野】

- ・ZOOMに事務局が契約したので、それを有効活用できないかを検討。

【国際交流分野】

- ・政府の緊急事態宣言および杉並区の指示や感染状況を見ながら休止、活動内容を検討しながら継続したいと考えています。
- ・一部オンラインを活用しているが、学習者からは、できるだけ対面での学習が望まれている。

アンケート調査結果

●どのような支援があれば活動がしやすくなると考えますか？ (自由記述)※原文ママ

【福祉分野】

- ・オンラインに切り替える時コストがかかるため、無料のオンラインツールや経費を抑えながら環境を整える方法がないかなどのご紹介をいただきたい。
- ・傾聴を必要とされる場所を見つけるサポートをしていただきたい。
- ・グループの活動ができる無料貸し出しの部屋
- ・環境が整ったテレポートセンター個室=貸し机
- ・情報を取りまとめ、発信してほしい。
- ・自由に使える無料の施設が必要。
- ・他団体と協働で活動ができれば、これまで以上に前進できます。健康づくりに関心があるボランティアグループをご紹介していただければ嬉しいです。
- ・ワクチンがいき渡り感染予防可能に近くなる。
- ・通信料がかかるので誰もができない。(パソコン、タブレット、スマホでも可。設備いる)ボラセンからオンラインできたらと思う。(相手側にも設備がいるけど・・・)
- ・傾聴活動の”新たな活動の場”を作り出せないか。
- ・点訳の相談があれば、つないでください。
- ・イベント等の可能な実施の方法や可能な会場等についての情報提供。
- ・対象と高齢者に限らず、傾聴ボランティアがいたらよりいいのでは、というような情報の提供があるといい。また、活動上必要であれば、例えば、感染予防のためのボードを貸与するなどの支援があるといい。
- ・活動(相談者を広める為)を広報していきたい。

【青少年育成分野】

- ・広報・宣伝に不足を感じているので、例えば活動分野ごとのネット上のコミュニティの紹介、つなぎなど。
- ・ゆうゆう館を利用し毎月1回集まり情報交換、手仕事などを計画している。
- ・コロナ禍では、使用する会場の人数制限があるため、安全な広い会場を用意してほしい。大きい会場の予約が困難。

アンケート調査結果

●どのような支援があれば活動がしやすくなると思いますか？ (自由記述)※原文ママ

【まちづくり分野】

・オンラインができる環境を整えるためのサポートをしてほしい。

【環境・自然分野】

・オンライン環境の整備が課題です。パソコンなどの配信にかかる機器はありますが、人によっては家族が一緒なので自宅でできない。

【芸術・文化・スポーツ】

・会の目的に合う他のボランティア団体を紹介して欲しい。一緒に活動できるように。

【国際交流分野】

・なるべく広い集会室の利用ができるようにしてほしい。

アンケート調査結果

●杉並ボランティアセンターへのご意見、ご要望、ボランティアに依頼したいことがありましたらご記入ください。(自由記述)※原文ママ

【福祉分野】

- ・いつもお世話になり感謝してます。
- ・ボランティアセンターの皆様丁寧な対応、私リタイア組の一部で、元気をもらってます。ボランティア活動は今までも又新たな生活にも、区民の大切な生活のターミナルです。
- ・利用者が気軽に利用でき、便利な処に活動場所を紹介して欲しい。
- ・コロナを恐れすぎると心も体もダメになるけど難しいところです。傾聴はどうしてもないとダメではないので、切られてしまう。本当は豊かに暮らすには大事なことと思う。今は耐える時期かな。
- ・せっかくの点字授業の依頼をお断りせざるをえない状況を心苦しく思っています。
- ・コロナだからということではなく、平常時も言えることですが、登録団体が優先的に活動ができる会場があると助かると思います。
- ・“ボラン・て”での広報、活動の掲示、配布物を今までのようによろしく願います。

【青少年育成分野】

- ・構成員が60, 70代ですので、家庭や、社会での自分の置かれた環境で個々に行動をしていくメンバーです。ファミサポ、シルバー、学校支援、児童館等での個人として活動をしていくと思います。ありがとうございました。
- ・情報いつもありがとうございます。

【環境・自然分野】

- ・活動が再開したら、幼児さんや学童を対象に活動を再開するので、一緒に活動して子どものサポートをしていただける方を求めたいと思っています。

【芸術・文化・スポーツ分野】

- ・要望がある時にはご連絡させて頂きますので、その際にはご協力をお願いしたい。

【国際交流分野】

- ・いつもお世話になり、ありがとうございます。今後ともよろしく願います。

まとめ

【活動の現状】

- ・活動をしている団体は半数以上を占めたが、活動内容は一部もしくは大きく変わったところがほとんどであった。
- ・活動の変化としては、活動の縮小、オンラインの導入をした団体が多い。

【見えた課題】

- ・オンライン環境の整備やサポート。
- ・他団体と協働できるような、団体同士の横のつながりの機会設定。
- ・活動者の高齢化。コロナ禍と重なり団体の存続に危機感。
- ・活動場所がない。
- ・イベント等の可能な実施方法の指針。
- ・感染症対策のための物品提供。
- ・団体の広報活動。

【今後の活動に向けての考え】

- ・オンラインを活用していく意見が多い。
- ・他団体との連携や情報共有を望む声がある。
- ・対面の意義もあり、団体によっては感染症対策を徹底して活動を行う。
- ・特に傾聴グループの中で多い意見として、新たな活動方法・活動場所を検討している。

ありがとうございました

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、ボランティア活動の中で大きな意味を持っている“人と会うこと”は、見直しをせまられました。人とのつながりや地域とのつながりを大切にされてきた団体の皆さまは、悩み、模索しながら、この一年を過ごされてきたかと思います。

このような状況下にもかかわらず、本アンケートにご協力いただいた皆さまへ、心より感謝申し上げます。

本アンケートでいただいたご意見や登録団体の現状を受け止め、地域の皆さまと課題解決できるような具体的なかたちを検討していきます。

社会福祉法人 杉並区社会福祉協議会
杉並ボランティアセンター
〒167-0032杉並区天沼3-19-16 ウェルファーム杉並4階
TEL 03-5347-3939 / FAX 03-5347-2063
ぼらせん.jp <http://borasen.jp/>